



青 於

1月号



読み聞かせ (12/14)

本校では、「ひばりの会」「さいこうクラブ」「職員」による読み聞かせを、年間18回行っています。絵本は、脳と心の発達によいことが、科学的に立証されています。絵本を読んでもらっているときは、テレビやDVDなどを見ているときに比べて、子供の脳が活発に動いているそうです。読んでもらうことで、本がどんどん好きにもなります。また、絵本の登場人物の感じた喜びや楽しさ、悲しみや悔しさなどを体験することで、子供の心が豊かになります。そして、人の痛みや喜びを分かち合うことができる、共感性も育まれます。



なかよし集会 (12/20)

毎年12月10日は「人権デー」で、12月は「人権月間」です。「人権を尊重することの大切さ」や「自分や友だちの良さを認めあい、人権を尊重しようとする意識を高める」ために、この時期に、なかよし集会を行っています。今年のなかよし集会は、人権の係から、「障害のあるお友だちのことを知ろう」をテーマに話がありました。話の最後に、「なかよしの約束」(①友だちは、「さん」や「くん」をつけて、大切に呼ぼう。②元気に気持ちよいあいさつをしよう。③ていねいな言葉づかいをしよう。)を唱和しました。そして、金子みすゞさんの詩、「わたしと小鳥と鈴と」を歌いました。



朝会の話(1/29)「言葉の大切さ」

いつも人の悪口や愚痴ばかり言っている人が周りにいると、場の雰囲気が悪くなって、聞いている人まで暗い気持ちになります。「疲れた」「どうせできない」などの悪い言葉を使っている人がいると、周りの人も疲れたり、できなくなってしまっただけでなく、言っている本人が、本当に疲れたり、できなくなってしまったりします。もし、マイナスの言葉を言っている人がいたら、「みんなそうだから我慢しろ」「甘えたことを言うな」などは、言わないようにしましょう。頭の上から押しつぶすような言葉ですから、その人は、本当につぶれてしまいます。そうではなく、「大丈夫、あなたならできる」「自信をもって」など、プラスの言葉を言って、相手に自信をもたせることが大切です。前向きな言葉をかけるだけで、あっさりできてしまうこともあります。言葉は、本当に不思議な力をもっています。相手が幸せになるかどうかを考えて、言葉を使うようにしましょう。相手に幸せな言葉を使うことで、自分ももっと幸せになります。(※1/22に予定されていた朝会が延期になります。)

その一言

高橋系吾

その一言で励まされ その一言で夢をもち
その一言で腹がたち その一言でがっかりし
その一言で泣かされる

ほんのわずかな一言が
不思議な大きな力もつ
ほんのちょっとの一言で



かるた大会 (1/5)

真岡市の武道体育館で、百人一首かるた大会が行われ、5年生6名が参加しました。全24チームが参加し、予選は3チームのリーグ戦で行われました。1枚差で、決勝トーナメントに進むことができませんでした。



科学教育センター

理科研究発表会 (1/11)

で、真岡市の理科研究発表会が行われ、6年生4名が参加しました。真岡市では、隔年で発表会に参加するようになっていて、その中から、郡市で発表する代表校が選ばれます。

落ち着いて上手に発表できましたが、残念ながら、代表には選ばれませんでした。

避難訓練 (1/17)

今日の訓練は、火災が起きたときに、ケガなどをしないで、素早く、安全に、避難できるようにするために行いました。どの学年も担任の先生の言うことを聞いて、黙って慌てずに、避難することができました。避難したあと、1・2・3年生は煙体験の予定でしたが、早朝の火災により消防署の方が来られなかったため、煙体験はできませんでした。3年生の希望者と4・5・6年生は、3階の音楽室から、脱出袋の体験をしました。それ以外の児童は、その様子を見学しました。

